



第19話 子どもは早い!

最近、子ども達がタブレットをよく使うようになりました。

高1の長男は、歴史動画(教科書より面白い!)に見入ったり、レゴのコマ撮りで動画を作って編集したり。

小6の長女は、友だちや妹と短編ドラマを撮影して、毎週のように作品を作っていて、小1の次女は動画見たさに、いつの間にかローマ字入力を覚えていました。

おもちゃのように、道具のように、あつという間

にタブレットやアプリを使いこなす子ども達って次世代だなと思います。コロナが加速させたデジタル化ですが、子ども達のように大人も楽しみながら使っていきたいものです。

キツネのお面をかぶった妹を撮りする姉



目で見る言葉

イラスト:森シホカ



おおつかあいプロフィール
1974年1月10日生まれ。旭操小学校、操南中学校、岡山朝日高校、岡山大学教育学部卒業。99年より福島県で農業研修。4年間の大工修業の後、自宅を建て、大工として働く。2011年3月福島原発事故により一家で岡山に避難。5月「子ども未来・愛ネットワーク」を立ち上げ、避難移住者のサポートや福島の子どもの保護受け入れなどを行う。北区建部町に夫、3人の子どもと暮らす。2016年から県議会議員。

大塚愛 いっぽ通信

岡山県議会議員
大塚愛 県政レポート [第19号]
発行: 2021年7月(2021年6月議会報告)
最新情報を発信しています
Facebook: みどり岡山
www.facebook.com/greenokayama
大塚愛
www.facebook.com/ohtsuka.ai.3
みどり岡山ホームページ:
http://midori-okayama.org

大塚愛

県政レポート(2021年7月発行) [第19号]



いっぽ通信

P.02-03 ヤングケアラーの理解と支援を

- P.01 災害に備え、準備と情報とつながりを
- P.02-03 おもな活動記録から「ひとり親家庭支援センターへ訪問」
- P.04 愛ちゃんがゆく! — 県議体験記 — / 日々のうごき (2021年3月~7月)



暑中お見舞い申しあげます。

今年、七夕に子ども達と短冊を飾りましたが、翌日から大雨警報が出るような天候が続き、九州や山陰では記録的な豪雨となり、各地で被害がありました。

「子どもの頃の七夕は、こんなに災害を心配することはなかったのに…」と、天の川を眺

めるところではない昨今の七夕を思います。

3年前の西日本豪雨で被災した箇所では、県管理河川801か所の97%が、砂防施設257か所の88%がこの6月で工事を完了し、高梁川は2022年度、砂川は2023年度に完了の予定です。

旭川では河道掘削も進み、以前より流れが改善されていますが、いつどこで降るか分からない線状降水帯などの雨に備えて、避難の準備は依然として大切です。

私は防災バックの中に、懐中電灯(頭につけるタイプが便利)、水やお菓子、防寒シート、携帯トイレ、電話番号メモなどを入れています。

また、大雨の情報を調べるために、ネットで「気象庁 今後の雨」や「おかやま防災

ポータル」のサイトをよく見て、雨の予想や旭川の水量を調べられました。

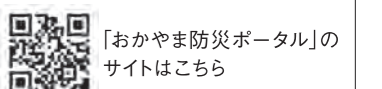
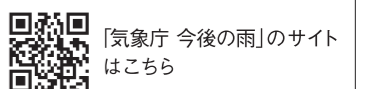
10年前に原発事故から避難した際も、情報をいかにキャッチできるかが肝心でしたが、自然災害も早めに情報を知

て逃げるのが大切です。また、情報を得るのが難しく、自力で移動が難しい高齢者や障がい者の方には、まわりの人の協力をあわせた避難計画が必要で、日頃からつ



RSKの能舞台の前で県政テレビの収録があり、思い立って着物が臨みました。子どもの頃は、お正月に着物を着るのが好きでした。

ながりを大切にしていければと思います。



日々のうごき

2021年3月~7月

- 3.30 食のちから応援プロジェクト意見交換
- 4.3 ユニオン岡山上映会、たんぼネットワーク定例会
- 4.4 中村哲氏追悼チャリティーコンサート
- 4.6 学生インターン発表準備
- 4.7 真庭市議選挙黒川愛さん応援
- 4.8 後楽館高校入学式
- 4.10 加茂川ホリデイフォレスター
- 4.12 竹枝小学校入学式
- 4.13 みつかフェ@岡山御津高校
- 4.14 五城村リノベ手伝い、SDGsネットワークワークショップ
- 4.15 常任委員会(環境文化保健福祉)、会派会議、ストップ性暴力の会
- 4.16 HPVワクチン被害被害者報告会online
- 4.17 たねをまると会総会
- 4.20 ももその育成園訪問、みどり岡山会議
- 4.21 会派会議、いっぽ通信プラス収録
- 4.22 気候変動緊急アクション@岡山市役所、岡山県庁
- 4.23 参観日@竹枝小学校
- 4.24 小津津希枝さん食のお話会
- 4.26 奈義町視察(子育て支援・地域通貨)
- 4.28 常任委員会、みつかフェ。
- 4.29 大野川いり川つくり野鳥観察会
- 4.30 たけべ中学生だっぴ会議
- 5.2 ヤギの柵直し@竹枝小学校

- 5.5 ヤギ牧場&福谷チーズ工房見学@真星
- 5.6 生理の貧困のお話@県教委
- 5.8 アジア太平洋ディスレクシアフォーラム
- 5.11 みつかフェ、フラワーデモ@エキチカ広場
- 5.12 子育て家庭支援の意見交換@笠岡ハーモニーネット未来online
- 5.13 常任委員会
- 5.14 県議会臨時会、おかやま居住支援センター理事会
- 5.15 子ども未来・愛ネットワーク総会online
- 5.18 NPO3・11ツナグ理事会online
- 5.19 女性支援の勉強会@(-社)エーブラスonline
- 5.20 SSWについての意見交換online
- 5.21 常任委員会(農林水産委員会)
- 5.22 岡山ホームレス支援さずな総会
- 5.24 空き家活用の意見交換@中国銀行建部支店
- 5.25 特別委員会(教育再生・子ども応援)、宿泊療養施設設業務のお話
- 5.26 みつかフェ@岡山御津高校
- 5.28 常任委員会、代表質問読み合わせ
- 5.29 県政市政おはなし会online
- 5.30 福祉オンズおかやま総会、岡山のエネルギーの未来を考える会総会online
- 6.1 強度行動障害についての意見交換@ももその育成園+県障害福祉課
- 6.3 常任委員会
- 6.4 特別委員会、

- 6.6 ひとり親家庭支援センター訪問 ムギ育種農園見学 @牧山クラインガルテン
- 6.7 GC地球環境セミナーonline
- 6.8 JBNウッドショックセミナーonline
- 6.9 みつかフェ@岡山御津高校
- 6.10 魚宗フーズ訪問、気候変動緊急アクション@県庁、みんなの集落研究所総会、土地規制法案勉強会online
- 6.11 フラワーデモ@エキチカ広場
- 6.12 加茂川ホリデイフォレスター
- 6.14 6月議会開会、ウッドショックセミナー@県木材組合連合会online
- 6.17 代表質問登壇
- 6.19 被害者サポートセンターおかやま総会
- 6.21 備中県民局・コムレ児童家庭支援センター・ウルハウス訪問、気候変動対策意見交換会@近畿地方環境事務所online
- 6.22 一般質問(~29)、テレビ収録打ち合わせ
- 6.26 手話講座@建部町公民館、おかやまいっぽん合同街宣@倉敷駅
- 6.27 子ヤギ到着@竹枝小学校、ポケットサポート総会online
- 6.30 特別委員会
- 7.1 常任委員会、市議会との新型コロナ意見交換会

6月議会の代表質問から 子ども達の課題を解決するために



「いっば通信Plus」
動画はこちら

ヤングケアラー

Q. 家族の世話や介護を担う子ども「ヤングケアラー」について、国が行った調査では、世話をしている家族がいる生徒(中学・高校)が約4~6%いることがわかり、そのうちの約1~2割は、勉強する時間や睡眠の時間が取れないと回答しました。岡山県内でもヤングケアラーとして生活や学習に何らから困っている生徒が相当数いると考えられます。しかし、ヤングケアラーについての認知はまだ低く、教育や介護の現場で確認されても、現状では手立てがないまま課



①障がいや病気のある家族に代わり、買い物・料理・掃除・洗濯などの家事をしている。
②障がいや病気のあるきょうだいの世話や見守りをしている。
③障がいや病気のある家族の身の回りの世話をしている。
©一般社団法人日本ケアラー連盟

題解決に至っていないことが多いようです。孤立や学業不振に陥らないように、相談しやすい環境づくりが必要ですが、教員や生徒へどのように取り組みますか？ また相談を受けた場合に適切な支援に繋がられるよう、市町村の介護・医療・福祉・教育の関連機関が連携して、重層的な支援を検討できることが必要ですが、県としてどう支援しますか？

A [教育長]. SSW(スクールソーシャルワーカー)が対応したケースを共有して、校内研修を行

有機農業

Q. 岡山県では全国に先駆けて1988年度から、「おかやま有機無農薬農産物」という独自認証制度を設け、安心安全な農産物の生産と普及に取り組んできました。昨年、国は有機農業の推進について基本的方針を改定して、取り組み面積を2030年までに倍以上に増やす目標を掲げました。また、先月国は、農林水産業のCO₂削減のために、「みどりの食料システム戦略」を定めて、2050年までに有機農業の取り組み面積を大幅に拡大する目標を打ち出

い、ヤングケアラーの概念や支援の必要性について教職員の理解を深めていきたい。また、児童生徒には、ヤングケアラーについて学ぶ機会を設け、必要に応じて支援を受けられることを伝えて、相談しやすい雰囲気づくりに努めていきたい。

A [知事]. 各市町村で必要な福祉サービスが提供されるように、要保護児童対策地域協議会の実務者への研修や、事例検討会への専門家チームの派遣などをして、対応力向上を支援していきたい。



国の新しい方針では、2030年に有機農業者を11,800人から36,000人に、有機農業の面積を23,500haから63,000haに増やす目標となっています。

しました。有機農業をさらに推進していけるよう、これまでの要綱から推進計画に改めて、技術開発や推進体制の強化に取り組んでいただきたいですが、いかがですか？

A [知事]. これまで有機農業に適したまと

まった農地の確保や生産団体の育成を目指して、市町村や農業団体と生産振興と販売促進に取り組んできた。今後、国の取り組みも含め、有機農業のさらなる推進方策を検討していきたい。

学習障害に対応したICTの活用

Q. 昨年からはじめられたGIGA(ギガ)スクール構想で、1人1台端末(タブレットかパソコン)を使える環境が整備され、子どもそれぞれにあったやり方で学べる可能性も広がっています。たとえ



ディスレクシア(読み書きに著しい困難がある症状)のための音声教材

ば読み書きに障がいがあっても、文字を書くのが苦手でも、キーボードや音声で入力することができれば、能力を大きく伸ばすことができます。しかし、ICT教育を今までと変わらない一斉授業での活用に留めて

しまうと、その可能性を狭めてしまいます。学習障がいに対応したタブレットの活用

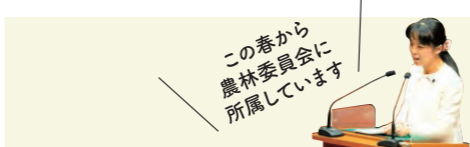
方針や先進事例、活用できるアプリについてeラーニング研修で示したり、子どもの希望を聞きながら活用を柔軟に考えていくことも



会派を代表して11項目を質問。6月議会では、新型コロナについて多くの議論がありました。第5波に備えて変異株の検査も導入しています。

必要だが、どのように進めていきますか？

A [教育長]. デジタル教材や音声教材などのICTの活用は、学習上の困難を改善を支援するのに有効だ。デジタル教科書の活用の意義や方法を、市町村教育委員会を通じて学校に積極的に周知するとともに、ICT活用の好事例の情報を集めて、学校に提供することで、学習に困難さがある子どもが主体的に学ぶことができるよう支援していきたい。



ウッドショック 農林水産委員会の質疑より

アメリカの住宅ラッシュやコンテナの減少が原因で、昨年からは木材輸入量が減り、春頃からは価格が高騰して住宅建築への影響が出るほどになりました。この「ウッドショック」と呼ばれる現象によって、県産



林業→製材→木材販売→建築と、木は川上から川下まで運ばれて使われます。(写真提供:岡山県林政課)

材の需要が増え、5月には製材のヒノキが前年の1.4倍の価格に、6月には原木市場のヒノキが前年の2倍の価格に上がっています。これを受けて林業事業者は例年より多く木材を出せるよう頑張っておられ、県産木材の活用が進むチャンスともなっています。農産物の地産地消のように、木材も地元産の木を使えば、安定供給が進み、山に仕事生まれ、森林環境が整うことで災害を防ぐこともできます。現在、住宅の半分は外国産材が使われていますが、この機をウッドチャンスに変え、県産材の活用が進むよう取り組んでいけたらと思います。

生理用品の提供 教育委員会への要望から

コロナ禍をきっかけに、生理用品が十分



「ご自由にお取りください」とトイレに設置されています@岡山御津高校

に手に入らない、いわゆる「生理の貧困」の問題がクローズアップされました。県内では民間団体や岡山市から生理用品が小・中学校などに提供されることになりましたが、県立高校についても要望したところ、衛生用品の予算を使って、生理用品を配布できることになりました。各学校によって配布方法が異なりますので、必要な方は養護室の先生に声をかけていただければと思います。

おもな「活動記録」から

ひとり親家庭支援センターへ訪問(6月4日)

岡 山県ひとり親家庭支援センターは、ひとり親、または離婚を考えている方を対象に、お仕事探しや支援制度、養育費などについて、2名の女性の相談員の方が相談にあたっておられます。

昨年はコロナの影響で前年の倍の約800件の相談があったそうで、なかでも一

番多いお仕事については、各ハローワークの担当者や連携して、ていねいに対応されています。子連れで相談に行きにくい方もおられますが、保育士さんの託児がある日曜出張相談もされています(予約制)。「無事お仕事が見つかりました!」と連絡があると、とても嬉しいと笑顔で話される相談員

さん。温かく頼りになる相談窓口だと思いますので、必要な方にご利用いただければと思います。この日は倉敷で子ども食堂やフードパントリーを運営する井上正貴さんも来られ、民間支援団体と公的機関の連携について、いろいろな情報交換をすることができました。

相談日:月・火・木・金の9~16時半、Tel:086-201-7260、岡山市中区古京町1-1-17

